



実践産業Ⅳ

International Standardization and Certification

九州大学総合理工学研究院
伊藤 一秀

リーディング大学院グリーンアジア国際戦略プログラムでは、経済産業省の産業技術環境局ならびに基準認証広報室と協力し、実践産業(Ⅳ)として国際標準化に関する講義を開設した。この講義では、国際標準化機構ISOに関して、その組織概要からISO制定手順、全体の動向に関する基礎知識の習得を目指し、産業競争力戦略における国際標準化政策の重要性を講義すると共に、具体的課題に関する演習を行うものである。

H25年度は、1月24日(金)に午後1時から午後7時すぎまで、筑紫キャンパスF棟304講義室にて殆ど休憩無しハードな集中講義として開催した。まず始めに伊藤より「Introduction and Background of International Organization for Standardization -ISO」と題した導入教育を行った。伊藤自身はISO/TC146/SC6のエキスパートやワーキンググループ事務局を10年以上務めた経験があり、日本工業規格JISを基にISO提案するための手順を苦勞話を交えながら紹介した。続いて、経済産業省 産業技術環境局認証課 和泉章課長より、「Importance of International Standardization and Certification」と題して国際標準化と認証の重要性を講義頂いた。最後には、「実際の

製品やサービスで標準化が進められ市場の拡大につながっている例を挙げよ」、「ビジネスの観点から、デジュール標準化を進めることがデファクト標準を狙うことよりも優れているところ、劣っているところは何か」、「日本のISO/IECにおける国際標準化活動が欧米のそれよりもなぜ劣っているのかその理由は何か。また、日本の国際標準化活動をより活性化する方策は何か」といった論点で全体ディスカッションを行った。

事前にディスカッションの課題を例示し、比較的意見を述べやすい環境の作出に配慮したこともあり、積極的な挙手で多くの意見が述べられた。大変アクティブなディスカッションであったと云えるが、一部、一方通行的に意見を述べるだけで、議論が深まらない場合も散見された。学生の語学力向上の他、ディスカッションを誘導する教員(伊藤)の能力向上も課題である。

来年度には、ISO規格案作成までの具体的な手順とエキスパートとして必要な能力を養成するため、より実践的な課題に取り組む時間を確保する計画である。



①



②



③

①②授業の様子
③経済産業省 和泉章 課長